

親愛なキリストにある兄弟姉妹

迫害下にある教会のための国際祈祷日 (IDOP) 2024

テーマ 「勇気ある信仰」

2024年11月3日(日)、10日(日)に、私たちは「迫害下にある教会のための国際祈祷日 (IDOP)」に集おうとしています。その日を迎えるにあたり、世界中の何百万人ももの信仰者と団結して、迫害を受けている私たちの神の家族と連帯するよう、皆様に呼びかけたいと思います。今年のWEA信教の自由委員会のテーマである「勇気ある信仰」は、申命記31章6節を土台としています。このみことばは激しい反対に直面しながらも、イエス・キリストへの信仰を固く守る人々の強さと回復力を思い起こすようにと私たちに呼びかけています。

今日の迫害の現実には心が痛みます。昨年1年間で、約5,000人のクリスチャンがその信仰ゆえに殺害されました。14,000件以上のキリスト教施設が攻撃され、4,000人以上の信仰者が拘束され、過酷で非人道的な状況に置かれています。世界中で推定3億1,600万人のクリスチャンが深刻な迫害下で生活しており、生命、生活、自由に対する脅威に日々直面しています。これらの数字は単なる統計ではありません。私たちの兄弟姉妹、つまりキリストのために勇気をもって苦難に耐えている男性、女性、子どもたち、ひとりひとりを表しているのです。

世界中で迫害が激しさを増してきています。中東からアジア、アフリカからラテンアメリカ、そして欧米の一部の地域でさえも、クリスチャンがその信仰のゆえに迫害の標的となることが増えてきています。彼らは疎外され、抑圧され、声を上げることができないでいます。しかし、このような逆境に直面してもなお、多くの人々の信仰は揺るがされていません。彼らの勇気は、苦しみのただ中で働く神の力を証しているのです。

申命記31章6節は、私たちにこう勧めています。「強くあれ。雄々しくあれ。彼らを恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主ご自身があなたとともに進まれるからだ。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない」と。この約束は、イスラエルの民が約束の地にまさに入ろうとするとき、手強い敵と不確かな未来に直面しているときに与えられたものでした。今日、この約束は、脅威や危険に直面しながらも信仰を堅く守る人々に深く響いているのです。

今年、IDOPを迎えるにあたり、迫害されている兄弟姉妹の勇気ある信仰に目を向け、私たちの信仰の火を燃え立たせようではありませんか。彼らのために熱心に祈り、試練の中で神が彼らを強め、支えてくださるよう祈りましょう。また私たちがどのように積極的に彼らを支援できるかを考えましょう。それは信教の自由への擁護活

動、迫害下の教会に意識を向けること、また可能であれば実際的な助けを通してかもしれません。

世界中の教会と宣教団体、クリスチャンの皆さまに IDOP2024 に参加して下さるようお願いします。11月のこの2週間を、祈るだけでなく、この問題について教会員の方々を育て、動員するために使ってください。私たちは、迫害下にあって声を上げることができないでいる人々の声を増幅させ、彼らが直面する不正義に対して、キリストにあって結び合わされた一つのからだとして立ち上がりましょう。

信教の自由がますます脅かされている世界において、私たちが一つとなって祈り、行動することは、今まで以上に極めて大切です。私たちは、キリストにあって迫害されている兄弟姉妹とともに立ち、彼らの模範に励まされ、必要な時に彼らを支援するために献身を新たにしましょう。

苦難の中にある人々が、私たちの祈りを通して強められますように。私たちも彼らの模範から刺激を受け、主である神が私たちとともにおられることを知り、勇気をもって私たちの信仰を生活で表すことができますように。

キリストにあって

世界福音同盟

信教の自由員会代表

ゴッドフリー・ヨガラジャ



WORLD EVANGELICAL ALLIANCE